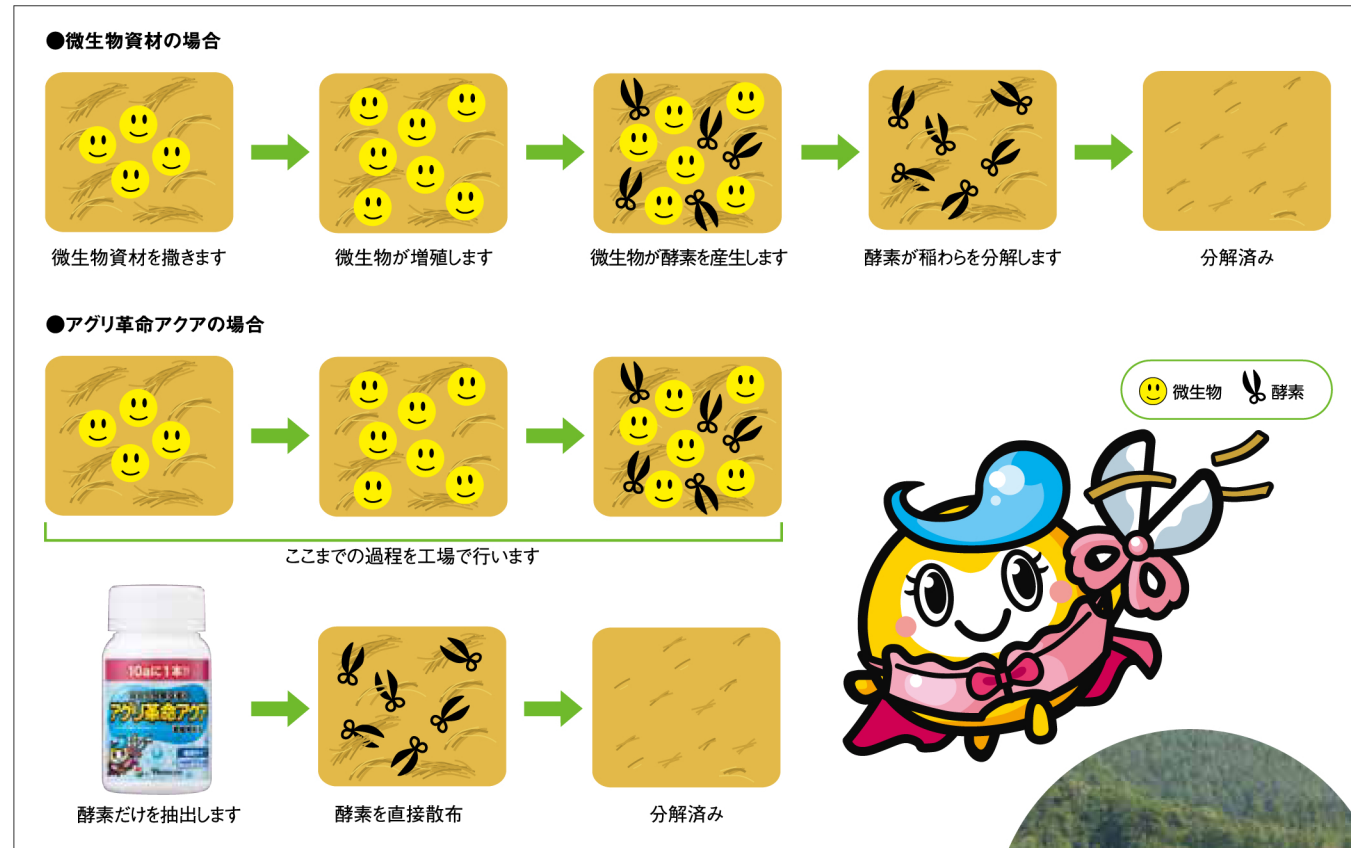
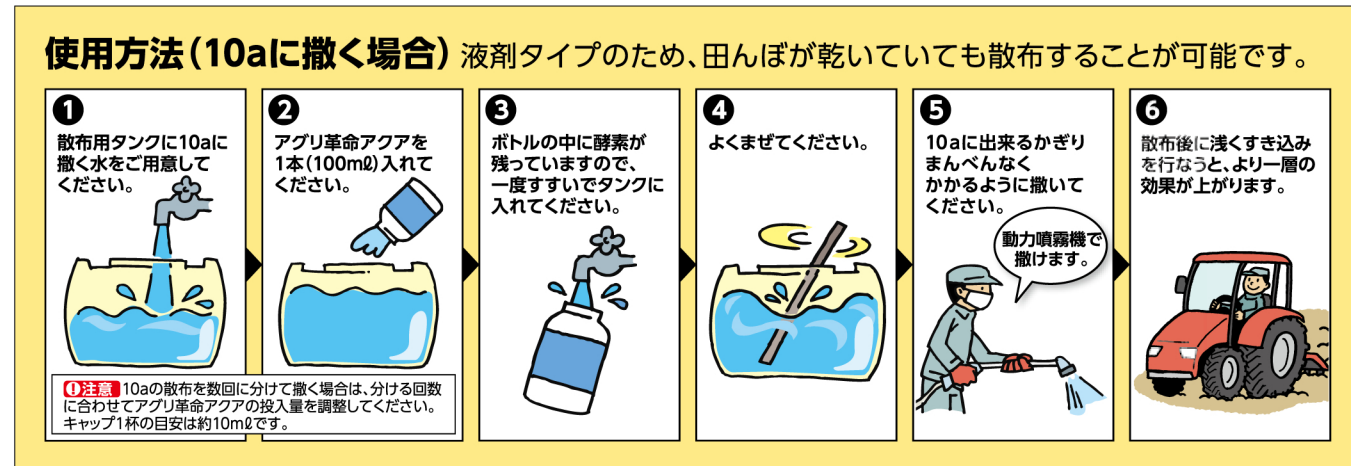
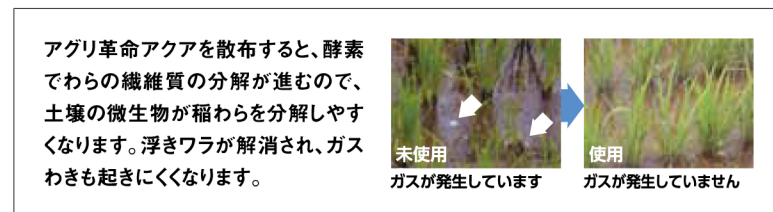


■図1 微生物資材と酵素資材の違い



■図2 ガスわきの比較



**酵素資材のため 土壌環境を選ばず使用可能**

稲作の収穫後発生する稲わらは、耕地の中に入れて土に還そうとしても、気温や土中の温度が低くて分解が進まず、還元に長い時間がかかるという問題があります。これを解決するのが稲わら分解促進材です。

従来の微生物資材の稲わら分解材の場合、温度や水分などの土壌条件により微生物の働きが変わり、植物繊維を分解する酵素の産生量も変化します。このため使用場所や条件で分解効果が異なってくるのが難点でした。

「アグリ革命アクア」は稲わらの分解に必要な酵素をそのまま散布する、これまでにないタイプの稲わら分解促進材です。

**自由に希釈できる液剤タイプ**

「アグリ革命アクア」1本は100ミリリットルで、10アール分の酵素が入っています。これをお手持ちの機器のタンクに合わせて水で希釈して使用してください。

手動・動力噴霧器、ブームスプレイヤー等のほか、ヘリコプターでの散布も可能です。

土壌環境の影響を受けないのが特長で(図1)、収穫後、気温がぐんと下がる北海道においても安定した効果が期待できます。乾田・湿田のいずれでも使用可能です。浮きワラを減少させ、ガスわきの発生を抑えます(図2)。

**稲わら分解促進材 「アグリ革命アクア」**

「アグリ革命アクア」は、コンタクトレンズ製造メーカーの(株)メニコンが開発した、酵素を利用する新しいタイプの稲わら分解材です。これまでの微生物資材とは異なり、寒冷地や湿田地域など土壌の環境を選ばないのが大きな特徴。「浮きワラ」「ガスわき」を低減して農作業を軽減し、丈夫な稲の育成をサポートします。

酵素の力で稲わらを分解!  
「浮きワラ」「ガスわき」を抑え、丈夫な稲を育てます。



アグリ革命アクアは、環境に配慮し、植物由来のプラスチック容器を採用しています。  
【植物由来のプラスチック容器とは】  
サトウキビの残留糖を原料に製造されるポリエチレンから成型された容器で、CO2の削減、化石資源の節減を狙った環境に配慮した容器です。

株式会社メニコン